

まず  
本、あり $\square$ 。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-

///Vol.31///

女性と政治

~参画しよう、声を上げよう~





# 政治分野における男女格差が大きい日本

世界経済フォーラム(World Economic Forum: WEF)が2023年6月に発表した、各国の男女格差を測るジェンダーギャップ指数(GenderGapIndex: GGI)において、日本の政治分野の順位は、146か国中**138位**と、男女格差が大きい現状があります。

GGIは、経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しているよ。  
日本では特に政治と経済分野で男女格差が大きいことが分かるね。

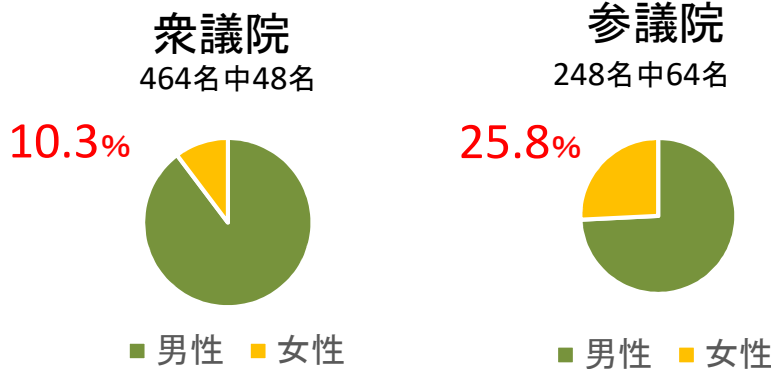
分野	スコア	順位 (146か国中)
教育	0.997	47
健康	0.973	59
経済	0.561	121
<b>政治</b>	<b>0.057</b>	<b>138</b>



(参考)「男女共同参画に関する国際的な指数」内閣府男女共同参画局  
[https://www.gender.go.jp/international/int\\_syogaikoku/int\\_shihyo/index.html](https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html)

## 国会議員の女性議員比率(2023年6月1日現在)

衆議院議員に占める女性の割合は187か国中167位でOECD諸国中最下位

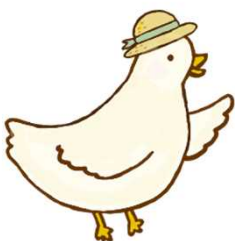


(参考)列国議会同盟(IPU)「Monthly ranking of women in national parliaments」  
<https://data.ipu.org/women-ranking?month=7&year=2022> (2023年4月1日現在)

## 首長の女性比率(2022年4月1日現在)

知事 **4.3%** (47都道府県中2名) 市区町村長 **2.4%** (1741市区町村中42名)

(参考)内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成  
又は女性に関する施策の推進状況(令和4年度)」  
<https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/suishinjokyo/2022/report.html>



人口の半分は女性なのに、  
意思決定の場には女性が少ない現状があるよ。



## 『さらば、男性政治』 三浦まり著 岩波書店 2023

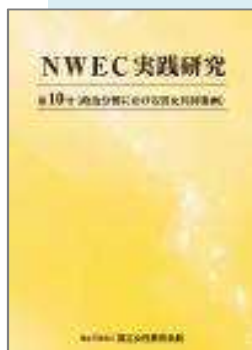
男性ばかりが担い手となっている政治構造、女性が直面する困難、女性政治家へのハラスメントなど日本政治の現状と課題から、ジェンダー平等で多様性のある政治の実現に向けて、クォータ制の必要性や女性の参画を進めるための解決策を提示しています。



著者の三浦まり氏は申きよん氏と2018年に一般社団法人パリテ・アカデミーを設立し、女性の政治リーダー養成講座の提供などの活動を行っています

<http://parity-academy.org>

## 『NWEC実践研究 第10号 政治分野における男女共同参画』 国立女性教育会館 2020



「NWEC実践研究」は男女共同参画の視点に立つ実践研究を進めるとともに、広く活用してもらうことを目的として、創刊しました。第10号は国内の政治分野の動向や国際比較、女性政治家のイメージなど幅広いテーマにわたる論文を掲載。地方議会の女性議員の現状や女性参政権実現の運動の歴史についても具体的に論じています。



国立女性教育会館HPでPDFを公開しています

<https://www.nwec.go.jp/about/publish/2019/ecdat60000006k1n.html>



詳しく知りたい方へ ～内閣府男女共同参画局が提供している情報～

### ● 「政治分野における男女共同参画」

<https://www.gender.go.jp/policy/sejibunya/index.html>

法律や取り組み、関連資料情報が掲載されています



### ● 「市町村女性参画状況見える化マップ」

[https://www.cao.go.jp/shichoson\\_map/?data=1&year=2021](https://www.cao.go.jp/shichoson_map/?data=1&year=2021)

全国の市町村別の女性の参画状況について、地図上で一覧できます





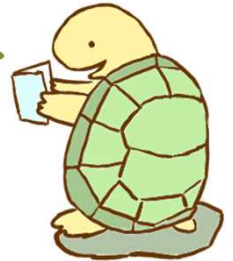
# 政治分野で男女共同参画を進めるために



## 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

2018年、国会議員の選挙で男女の候補者数ができる限り均等となることを目指す法律が公布・施行されました。「候補者均等法」とも呼ばれています。

法律はできたけれど、都道府県と市区町村の全1788地方議会のうち、女性議員がいない「女性ゼロ議会」はまだ14%もあるよ



### 関連情報

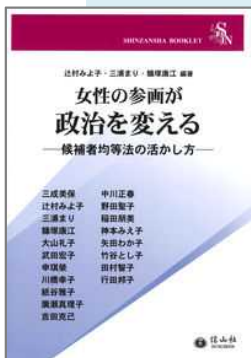


声をつないで 国際女性デー2023「女性ゼロ議会」14%  
全1788地方議会、1人のみ437 共同通信調査  
(毎日新聞 2023.02.07)

[https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac\\_link/bibid/BB11541970](https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_link/bibid/BB11541970)

## 『女性の参画が政治を変える：候補者均等法の活かし方』

辻村みよ子, 三浦まり, 糠塚康江編著 信山社 2020



候補者均等法の意義や成立までの動き、女性候補者を増やすための取り組みなどが書かれています。政治分野におけるジェンダー不平等の現状と課題から、政治分野における女性の参画について考えることができる一冊です。本書は2019年4月に行われた日本学会議シンポジウム「男女がともにつくる民主政治を展望する」の記録を基に刊行されました。

## 『諸外国における政治分野の男女共同参画のための取組：

### Women in Politics』

内閣府男女共同参画局 2020



日本と主要国6か国(イギリス、フランス、韓国、オーストラリア、カナダ、メキシコ)の現状と女性の政治参画を促す取り組みを紹介するパンフレット。世界におけるクオータ制の導入状況や女性議員割合の推移など様々なデータが視覚的に分かりやすくまとめられています。

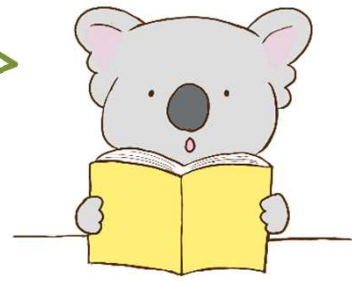


内閣府男女共同参画局HPにPDFが公開されています

<https://www.gender.go.jp/policy/seijibunya/pdf/pamphlet.pdf>



政治に参画するために参考になる  
本が知りたいな



## 『住民参加型選挙運動ハンドブック入門編：地方議員を志すあなたと、 送り出したいあなたへ：女性議員からのメッセージ(改訂版)』

市川房枝記念会女性と政治センター「地方選挙ハンドブック」編集委員会編  
市川房枝記念会女性と政治センター 2022



地方議員の立候補の準備から選挙運動、選挙が終わった後にすることまで実践的な内容がまとめられたハンドブックです。「保育園に入れたい」「安全な食材がほしい」など様々な問題解決のために立候補を決意した主に無所属の女性議員たちの体験を元に作成されました。

## 『Youthquake：U30世代がつくる政治と社会の教科書』

No Youth No Japan編著 よはく舎 2021



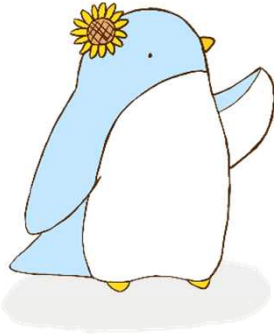
編著者のNo Youth No Japanは、「大学生を中心とした団体で、若い世代の政治参加をもっと身近なものにすることを目指して」います。日本の若者と政治の現状、身の回りにある課題を解決する手段としての政治など、政治に関する基礎知識から投票・署名運動・デモ参加・SNSによる発信など、具体的に実践できる政治参加の方法が書かれています。

## 『25歳からの国会：武器としての議会政治入門』

平河エリ著 現代書館 2021



総理大臣、国会議員の仕事、野党の役割、選挙制度など政治の仕組みを理解するための入門書。ジェンダーと国会に関する章では、「日本には、なぜ女性議員が少ないの？」、「同性婚は違憲なの？」、「国会における「女性議員」が直面する問題とは？」の疑問に答えます。



どんな女性の政治家がいるんだろう



### 『日本を変える女たち：女性政治家インタビュー集』 五十嵐えり[ほか述]；土田修著；水越真紀著 Pヴァイン 2022

8名の女性政治家へのインタビュー集。政治家を目指したきっかけや選挙での経験、今後の活動への思いなどがまとめられています。活動内容は違っても、「ジェンダー平等」を基軸にした世直しを模索している」という共通点があることがうかがえます。

### 『女たちのポリティクス：台頭する世界の女性政治家たち』 ブレイディみかこ著 幻冬舎 2021



イギリス在住のコラムニスト・ライターの著者の視点から、主に欧州と日本の女性政治家の活躍や世界情勢を紹介しています。ナショナリストたちがフェミニズムを手段として利用する「フェモナショナリズム」(フェミニズム+ナショナリズム)についての意見も書かれています。

### 『世界を動かした素敵な女性トップリーダー23人： 国際的に活躍できる日本の女性リーダーを創る』 山中燦子著 リフレクト 2023



統治能力を発揮し、自国経済を好転させた女性や日本が誇れる女性など、国内外の女性リーダーを著者が直接交流して感じた印象やエピソードを織り交ぜながら紹介しています。リーダーが考えるべき人間の安全保障・予防外交についても論じています。

女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適！



国立女性教育会館 文献情報データベース

https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac\_search/



文献情報データベースでできること

- ①女性教育情報センターの豊富な所蔵資料が検索できます  
図書・地方行政資料15万冊、雑誌4,200タイトル、  
新聞記事57万件、和雑誌記事7万6千件
- ②資料には、登録時に関連キーワードが付与されているため、  
幅広い、効率的な検索ができます

新着資料アラートサービス

https://www.nwec.go.jp/database/new.html



関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録すると、その条件にあった女性教育情報センターの新着資料をEメールでお知らせ！

図書と雑誌は 10冊 3週間まで借りられます

\* 雑誌は直接来館のみ貸出



お近くの図書館や男女共同参画センター等を通じて貸出できます(送料ご負担)



埼玉県内在住・通学・通勤の方は、埼玉県内公共図書館を通じて図書を送料無料で貸出できます

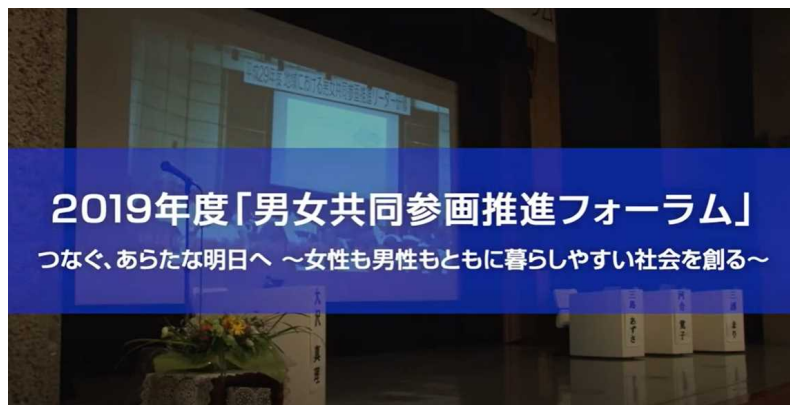


<https://www.youtube.com/@nwecchannel5257>

男女共同参画リーダーを対象として実施した研修・セミナーの基調講演やシンポジウムの様子を動画配信しています

● 政治関連動画

2019年度「男女共同参画推進フォーラム」シンポジウム  
「基本法から20年 ～今こそチャレンジ！政治分野への女性の参画～」



<https://youtu.be/KLbIH-FskDs>



## 女性と政治

～参画しよう、声を挙げよう～

女性教育情報センターテーマ展示（7～9月）



<https://www.nwec.go.jp/event/center/politics.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.go.jp/facility/center.html>



発行: 2023年7月